

# ひだまり

## 発行に寄せて

この度、新成医会の緩和ケアだよりとして、「ひだまり」を発行させて頂くこととなりました。新成医会も緩和ケアを導入して3年が経過しました。まだまだ十分なケアができていないとはいえませんが、それぞれの病棟・チームで緩和ケアに取り組んでいます。さまざまな取り組みが行われていますが、その情報を随時この場で発信していきたいと思います。春・夏・秋・冬の季刊誌となります。この「ひだまり」がスタッフの刺激となり緩和ケアの提供が充実し、患者様・ご家族様にとっても、貴重な情報源の場としていきたいと思ひます。

緩和ケア委員会

## 音楽アクティビティ

6月10日・24日・7月1日の3日にわたり東京で活躍している音楽療法士の有田昌代先生より音楽アクティビティの研修会がありました。各部署で音楽をベースとしたレクリエーションを患者様・スタッフともに楽しむことができました。



## 緩和ケア(理念)とは何か

WHOの定義した緩和ケアは、病気や障害の治癒ができなくなった利用者に対する積極的な全人的ケアです。緩和ケアの目標は、利用者とその家族にとって、出来る限り可能なQOLを実現することです。この考えを、実際のケアの場面で生かすための方法・展開論が緩和ケア理念なのです。私達はそれぞれの専門的技術を磨くと共に、緩和ケア理念を共有すること、利用者の最大限のQOLを引き出すことが可能になります

医療法人 新成医会 副理事長

市原 綾子

## 学習療法

読み書き・計算・音読を短時間、定期的に行う事で、脳の前頭葉を活性化させることができるといわれています。当法人では県内の中でもさきがけ的に導入をして、3年が経過しました。

みどり病院:5 病棟にて

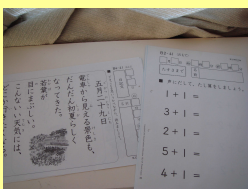
月曜日～金曜日

13:30～15:00 位まで

緑樹苑:5F レクリエーション室

月曜日～金曜日

10:00～11:00



教材の一部



数字盤

## タクティールケア

肌と肌との優しいコミュニケーション「タクティールケア」をご存知ですか。それは福祉先進国スウェーデンで効果の高い認知症ケア手法として生まれました。「タクティールケア」という言葉は、ラテン語で「触れる」ということを意味する「タクティリス」からきており、指圧のように押ししたり、痛点を刺激するのではなく、手のひらを使って相手の手足や背中を柔らかく包み込むように触れていきます。これにより、身体の痛みを緩和したり、興奮状態や不安感を抑え、心から落ち着かせることができます。